

わたしたちと国際協力

昭和 61 年 10 月

国際協力事業団
総務部広報課



国際協力事業団	
受入 月日 '86.11.05	000
登録No. 15610	36
	GAP

目 次

1. 開発途上国の現状	2
2. 先進国の貿易に占める開発途上国の割合(1984)	3
3. 日本の各種輸入品に占める開発途上国の割合(1984)	4
4. 1984年DAC主要加盟国の経済協力	5
5. 1984年DAC主要加盟国ODA及び対GNP比	6
6. 1984年DAC主要加盟国一人当たりODA支出	7
7. 1984年DAC主要加盟国ODA贈与比率	8
8. 1984年DAC主要加盟国ODA Grant・エレメント	9
9. 1984年DAC主要加盟国技術協力の対ODA比	10
10. 経済協力用語の説明	11
11. JICAとは	15

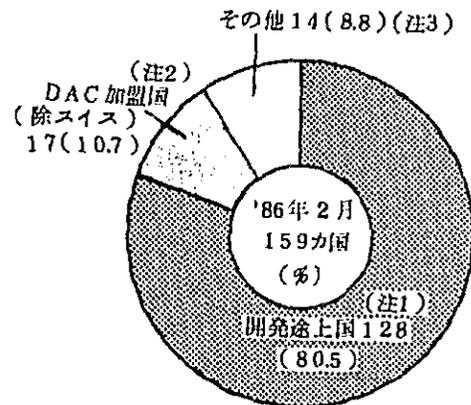
JICA LIBRARY



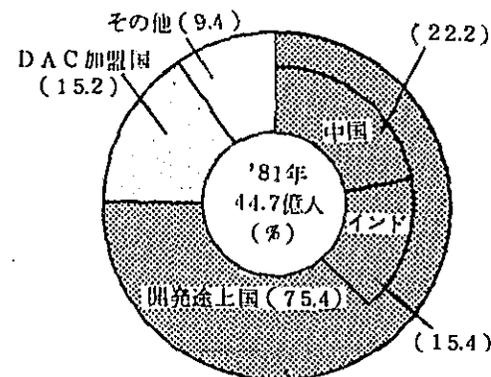
1005480E7J

1. 開発途上国の現状

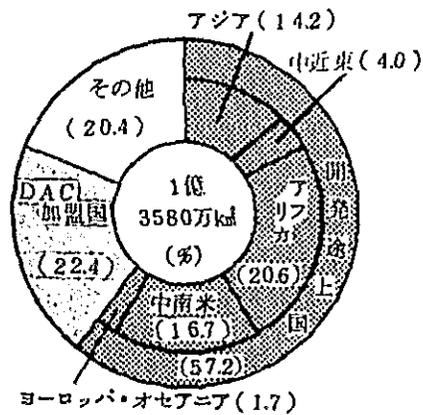
1. 国連加盟国数



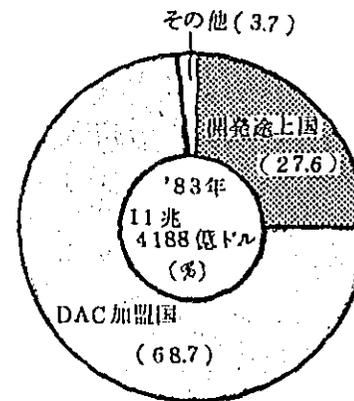
2. 人口



3. 面積



4. G N P (注4)

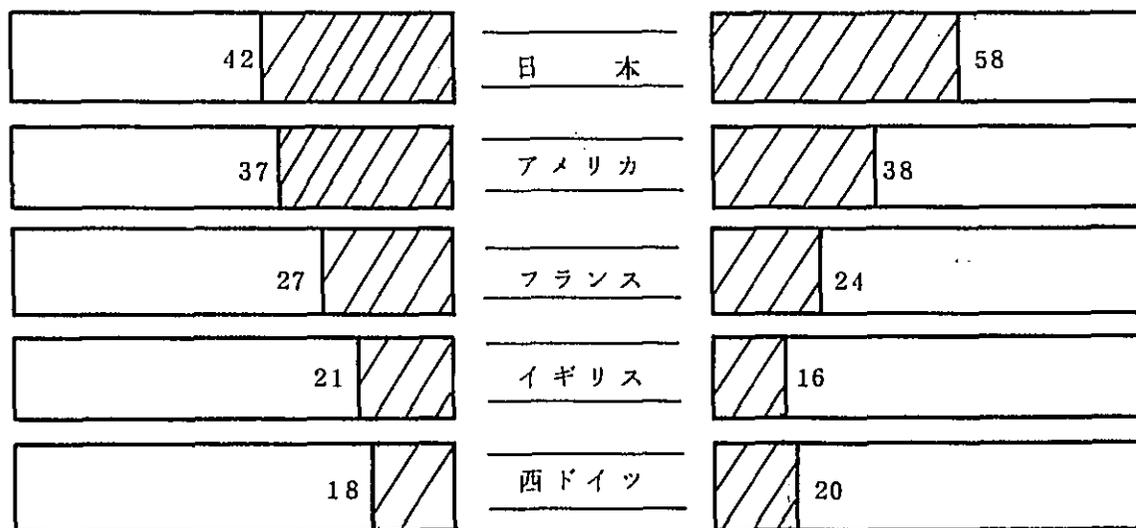


(注1) P12の9参照。
 (注2) P12の7参照。
 (注3) ソ連、東欧諸国等。
 (注4) ソ連、東欧諸国を除く。
 GNPについては、P12
 の5参照。

2. 先進国の貿易に占める開発途上国の割合（1984）

(%) 総輸出に占める割合

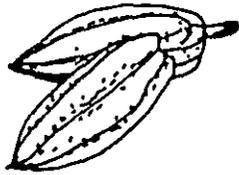
総輸入に占める割合 (%)



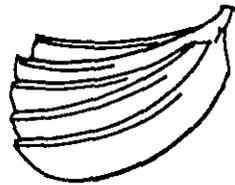
 開発途上国

(資料：OECD, 貿易統計)

3. 日本の各種輸入品に占める開発途上国の割合（1984）



カカオ豆
100%



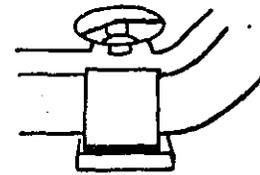
バナナ
100%



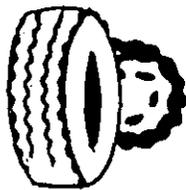
コーヒー豆
99%



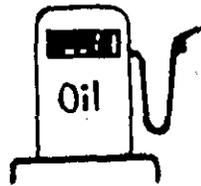
えび
77%



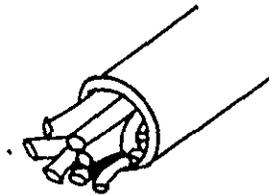
液化天然ガス
94%



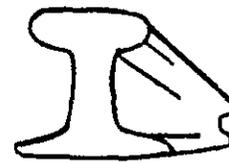
天然ゴム
100%



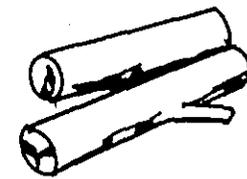
石油
93%



銅 鉱
84%

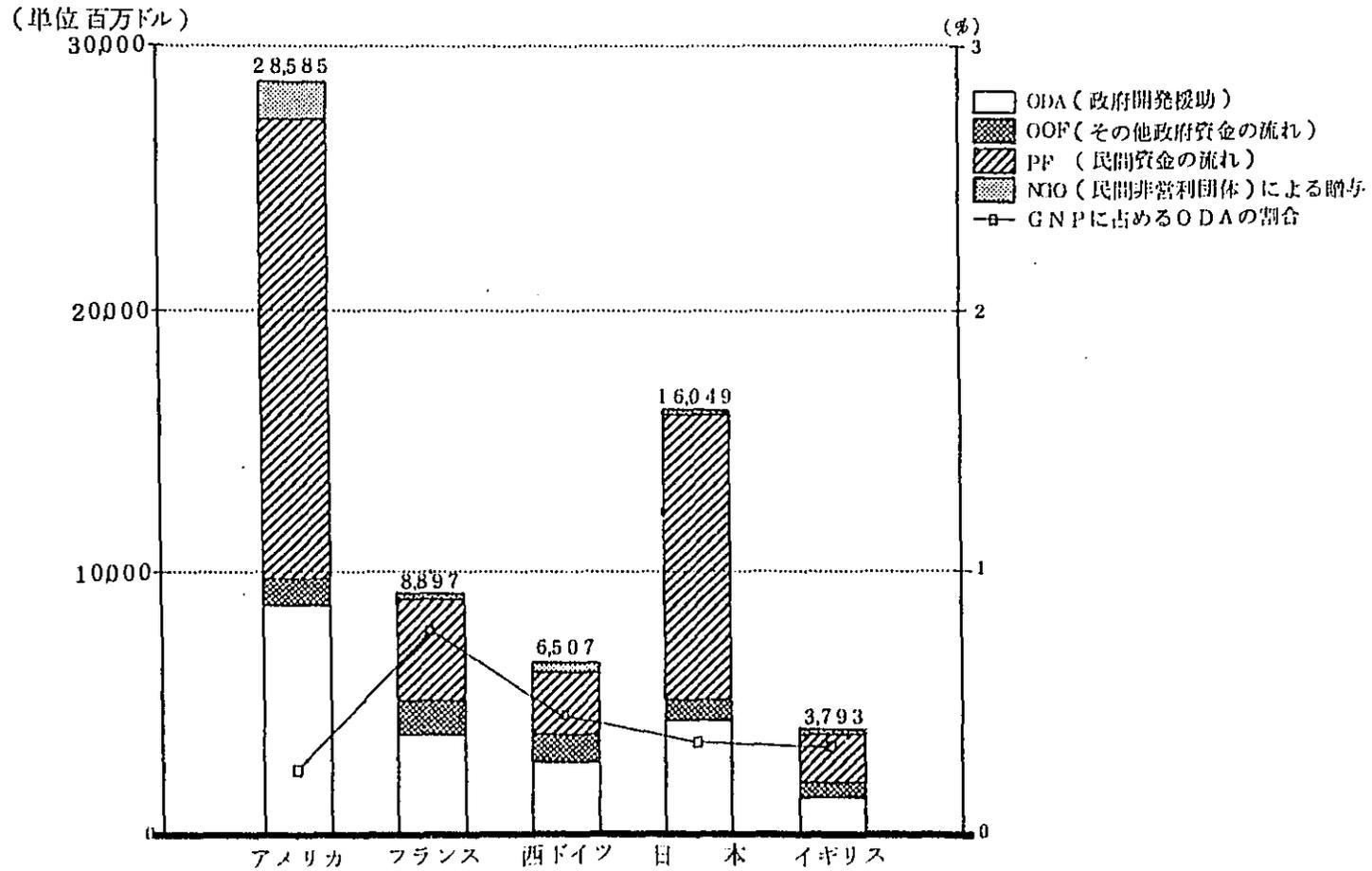


鉄 鉱 石
48%

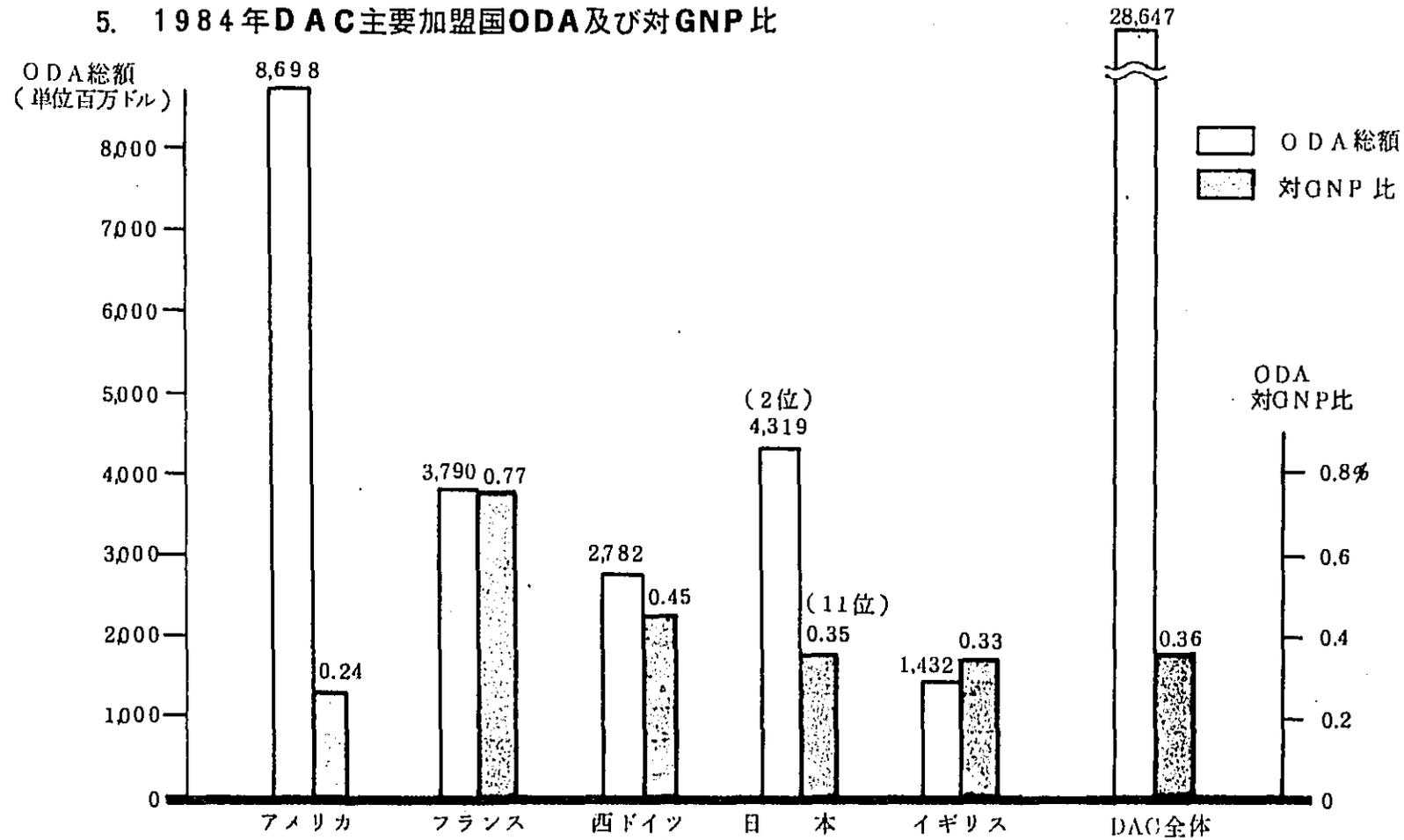


木 材
46%

4. 1984年DAC主要加盟国の経済協力

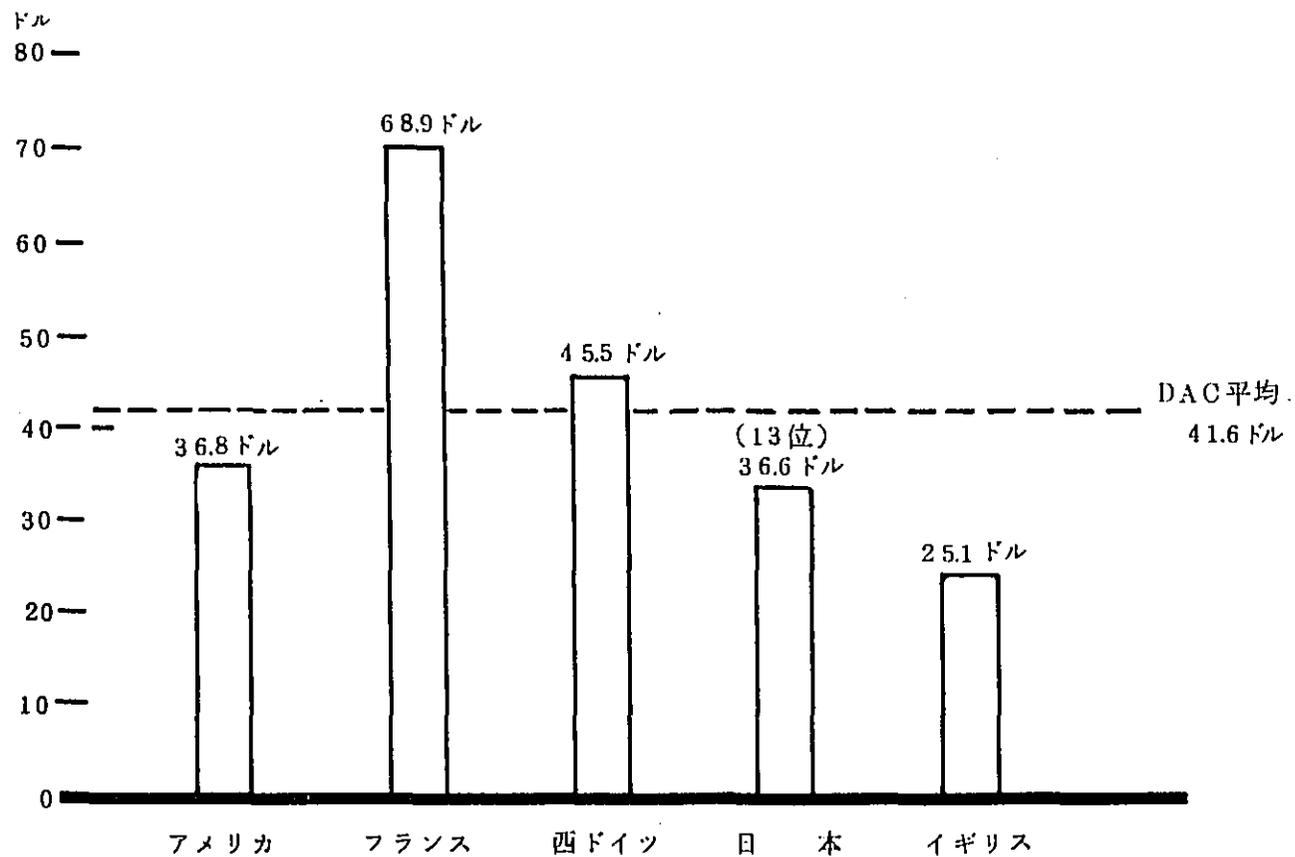


5. 1984年DAC主要加盟国ODA及び対GNP比



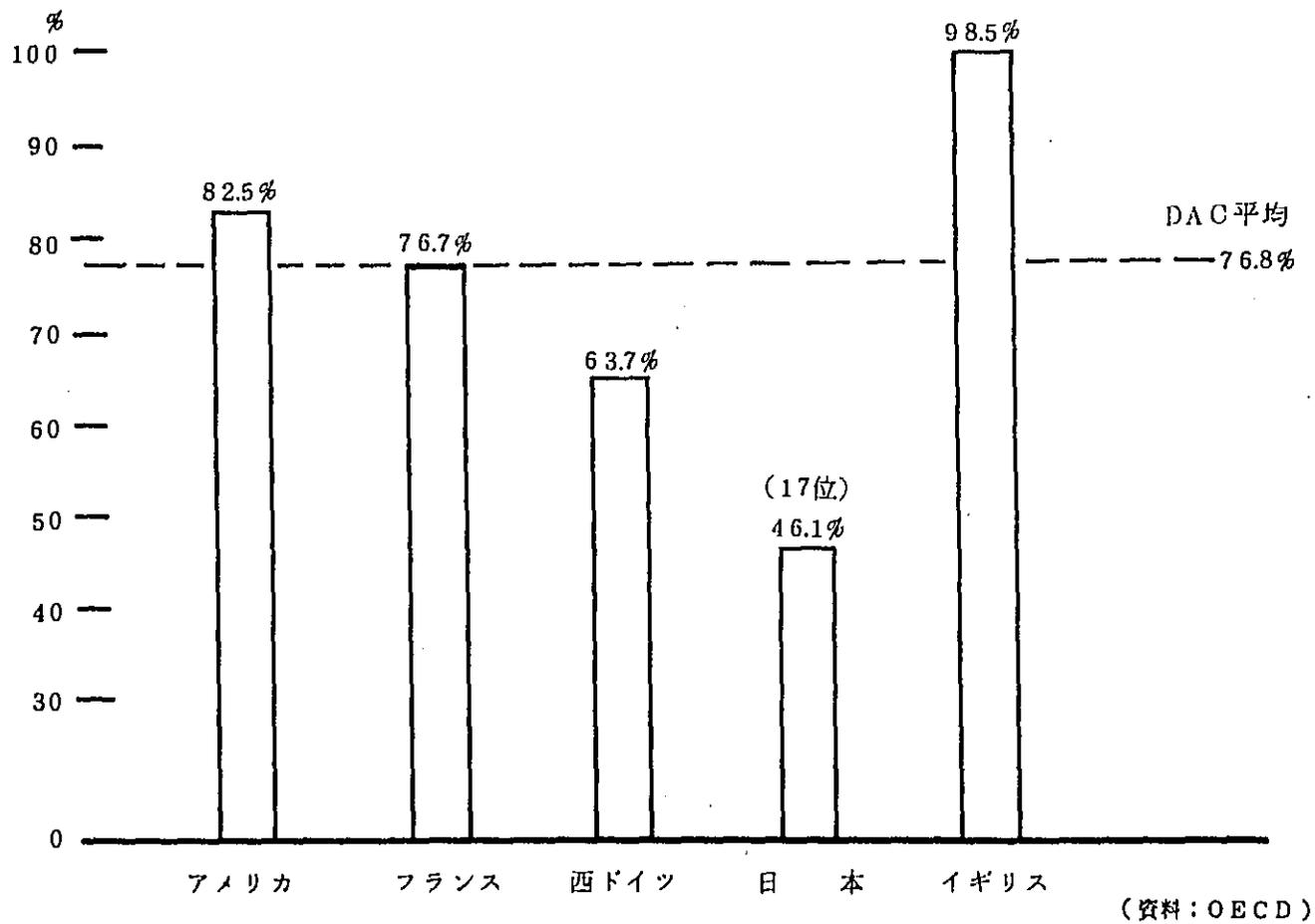
(資料: OECD)

6. 1984年DAC主要加盟国一人当りODA支出

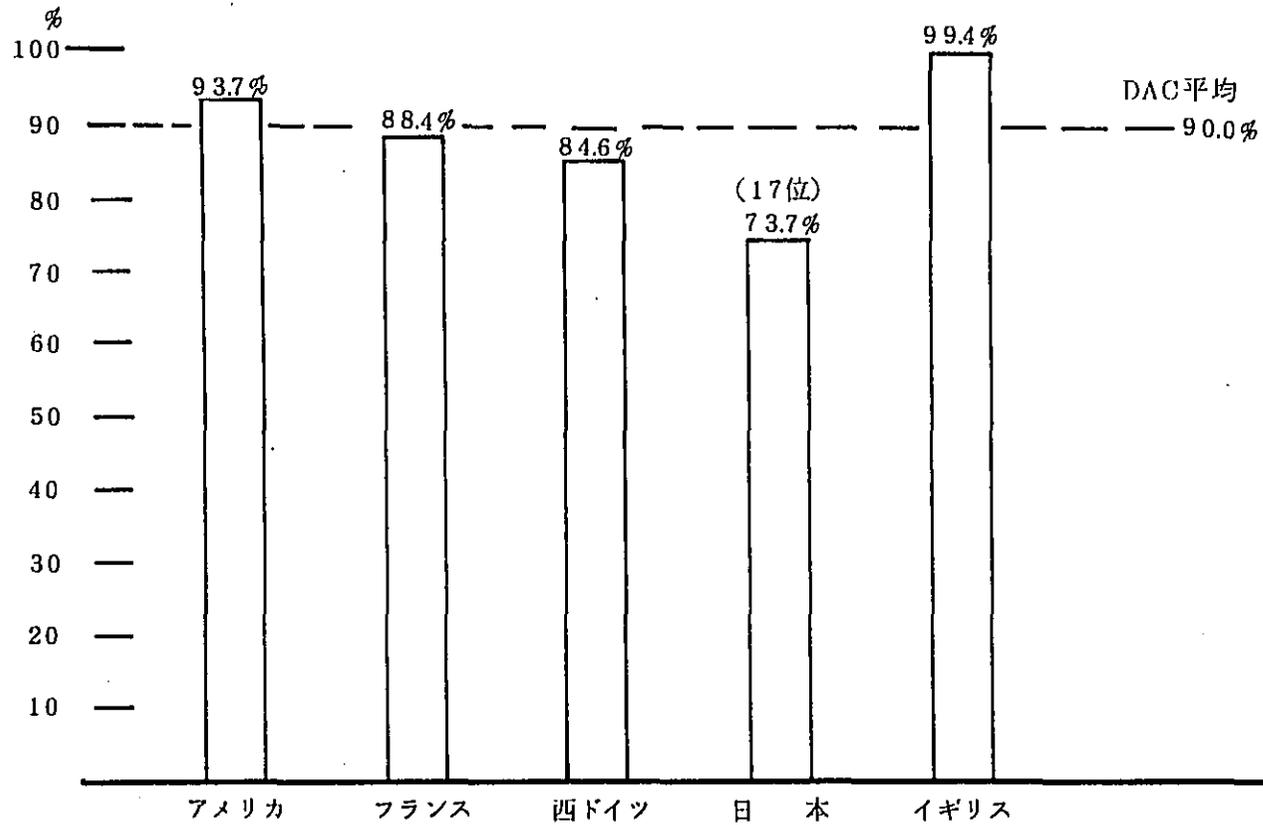


(資料: OECD)

7. 1984年DAC主要加盟国ODA贈与比率

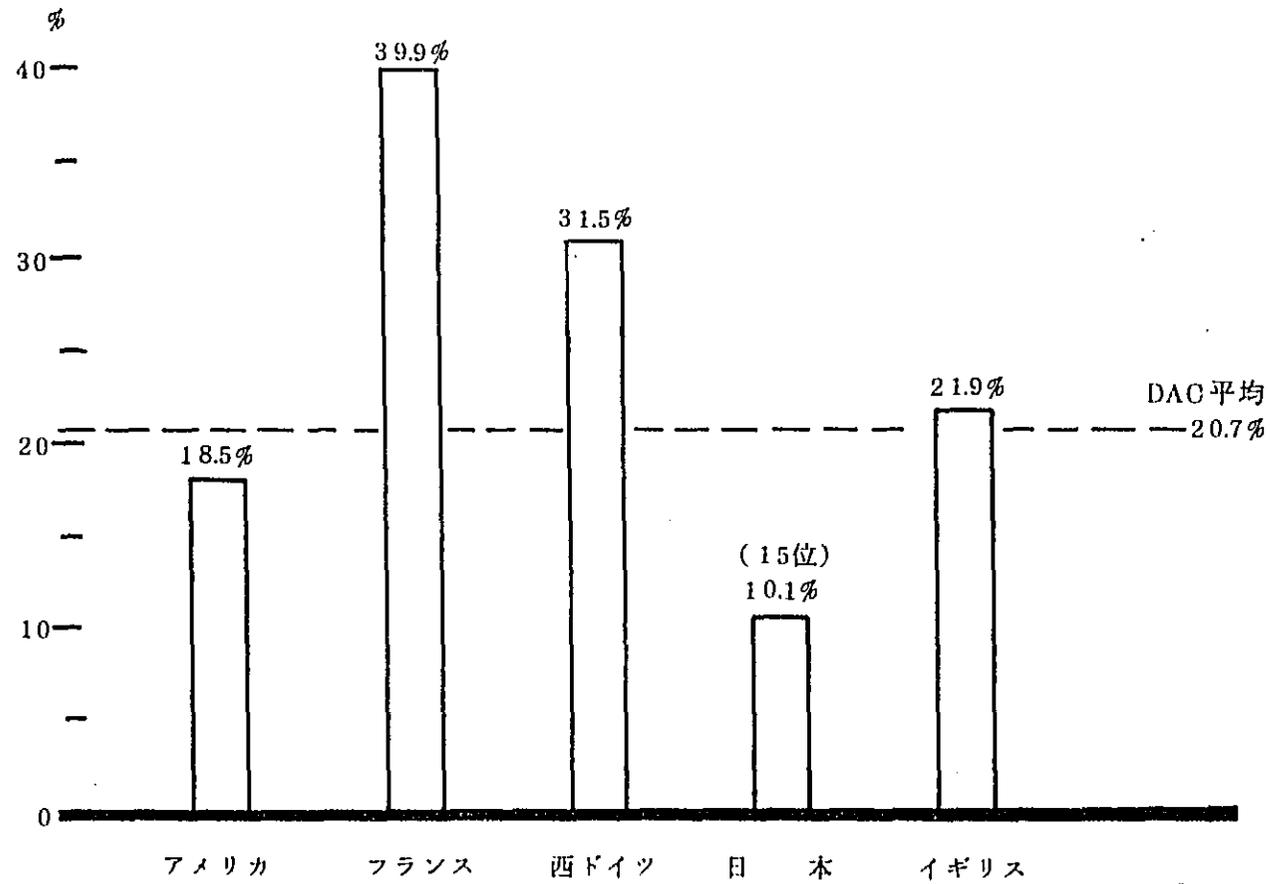


8. 1984年DAC主要加盟国ODA Grant・エレメント



(資料: OECD)

9. 1984年DAC主要加盟国技術協力の対ODA比



(資料:OECD)

10. 経済協力用語の説明

1. 南北問題

欧米諸国や日本などの先進国の多くは地球上の北に位置し、開発途上国と呼ばれる貧しい国の多くは南に位置しています。「北」の先進国が著しい経済発展をとげ、国民は豊かな生活をおくっているのに対し、「南」の開発途上国には、飢えや貧困に苦しんでいる人が今なおたくさんいます。こうした北と南の貧富の格差から生ずるひずみを解消し、世界中の国々がともに繁栄していくにはどうしたらよいのか……この重要な国際的課題が「南北問題」なのです。

この「南北問題」ということばは、1959年11月に世界銀行のインド調査団に参加したイギリスのロイド銀行頭取オリバー・フランクス卿によって初めて使われて以来、世界中で使われるようになりました。

2. 政府開発援助 (ODA:Official Development Assistance)

政府や政府の実施機関によって開発途上国に供与される資金のうち、途上国の経済開発や福祉の向上を主な目的とし、供与条件が特にゆるやかなものをいいます。

ODAは、2国間の贈与(無償資金協力、技術協力)と貸付(借款)および国際機関に対する出資・拠出に大別されます。

3. 贈与 (Grant)

政府開発援助 (ODA) を大きく二つに分けると、途上国に返済義務を課さない贈与と、返済義務をとまなう貸付 (借款) に分かれます。贈与は、さらに2国間贈与 (無償資金協力、技術協力) と、国際機関に対する出資・拠出に分けることができます。

ちなみに、ODAの実績全体に占める贈与の割合のことを贈与比率といい、先進国の援助の質の良さを示す指標のひとつとなっています。

4. グラント・エレメント (Grant Element)

開発途上国に対する援助には、ただで資金などを贈与する場合と、あとで返してもらう場合があります。開発途上国側からは、前者、即ち贈与の方が喜ばれます。また、後で返済する場合でも、できるだけ金利が低く、返済期間が長いものが喜ばれますので、それだけ援助の質が高いと言えます。

グラント・エレメントは、こうした援助の質を表わす指標で、貸付の利率、返済期間、据置期間等の関数で表わされ、贈与の場合100%。この値が高い程、質の良い援助であると言えます。

なお、開発途上国に対する政府資金の流れのうち、グラント・エレメントが25%以上のものがODAとみなされます。例えば金利4.75%、返済期間10年、うち据置期間4年の貸付の場合、約25%となり、ODAとされるのです。

5. 国民総生産(GNP:Gross National Product)

一定期間(普通は1年間)に、一国で生産された物とサービスの総額。一国の経済の大きさを示す数字としてよく使われます。

ちなみに、開発途上国の人口は、地球上の全人口の4分の3を占めていますが、その国民総生産の合計は、世界の5分の1にしかなりません。

6. 経済協力開発機構(OECD:Organization for Economic Cooperation and Development)

第2次大戦後、マーシャル・プランの下でのヨーロッパの復興の為に発足した欧州経済協力機構(OEEC)を1961年9月に改組、発足した西側諸国による国際機構。世界経済の安定成長と貿易の拡大に努め、更に、開発途上国に対する経済・技術協力の促進・調整をすることを主な目的としています。

加盟国は、DAC加盟国にギリシャ、アイスランド、ルクセンブルグ、ポルトガル、スペイン、トルコを加えた24カ国です。

7. 開発援助委員会(DAC:Development Assistance Committee)

DACは、経済政策委員会、貿易委員会とともに、OECDの3大委員会の一つで、先進国18カ国(アメリカ、イギリス、カナダ、西ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、ベルギー、ニュージーランド、ノルウェー、デンマーク、スウェーデン、フィン

ランド、オーストリア、スイス、オーストラリア、アイルランド、日本)とECによって構成されています。

DACは、加盟国の開発途上国に対する協力についての意見交換の場であるとともに、加盟国の援助実績に関する統計の作成も行っています。

8. 技術協力(Technical Cooperation)

開発途上国の経済・社会を発展させてゆくには、単に資金的な援助をするだけでは十分ではなく、国造りを担ってゆく途上国自身の人材の養成(人作り)に協力する必要があります。このような協力を技術協力と呼んでいます。

具体的には、研修員や留学生の受け入れ、専門家や調査団の派遣、機材の供与などがあげられます。

9. 開発途上国(LDC:Developing Country, Less Developed Country)

開発途上国の定義は必ずしも明確ではありませんが、DACによれば、国民所得が低い水準にあるつぎの国々です。

- (1) アフリカでは、南アフリカを除くすべての国々。
- (2) アメリカでは、米国、カナダを除くすべての国々。
- (3) アジアでは、日本を除くすべての国々。
- (4) オセアニアでは、オーストラリア、ニュージーランドを除くすべての国々。

- (5) ヨーロッパでは、キプロス、ギリシャ、マルタ、ポルトガル、トルコ、ユーゴスラヴィアの6カ国及びジブラルタル（英領）。

10. 民間非営利団体(NGO:Non-Governmental Organization)

自国内あるいは開発途上国内で、商業的な利益を求めないで、開発問題にとりくむ民間の奉仕グループなどの団体のことです。

ひとつひとつのグループの活動は小規模ですが、政府間の取決めを結ぶ必要がないので、例えば災害などの緊急な事態に自由な対応ができることや、途上国の一般大衆の中にとけこんで協力することができることなどから、政府ベースの経済協力とは別に、開発途上国の発展に貢献しています。

<MEMO>

JICA